

米国血管外科学会 (Society for Vascular Surgery) の不思議
Report from Vascular Annual Meeting 2018 in Boston

兵庫医科大学心臓血管外科
日本血管外科学会評議員・国際委員
米国血管外科学会員・2017-2018年度米国血管外科学会国際関連委員
山村光弘

Q1 なぜ“American” Society for Vascular Surgeryではないの？

A1 1947年設立当時は米国しか血管外科学会はなかったので，“American” Society for Vascular Surgeryと命名する必要がなかったからです。また米国血管外科学会総会は、本学会ホームページ 米国血管外科学会2015・2017参加報告に記載したように、Vascular Annual Meeting（以下VAM）と表記されます <http://www.jsvs.org/ja/event/svsvascularannualmeeting/>。

なおカナダ血管外科学会 Canadian Society for Vascular Surgeryは米国東部 New England Society for Vascular Surgery 等と同様に SVS 構成する地方会で、2020年度米国血管外科学会総会（2020 VAM）はカナダ・トロント開催予定です。正確には SVS は“北米”血管外科学会と訳したほうがいいかもしれません。

Q2 SVSの日本支部はあるの？

A2 2014年やっと米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS ができました。今年5月の日本血管外科学会総会（山形）でも、Clement R Daring III SVS 会長が来日され、引き続き SVS Japan Chapter Symposium が同時開催されました。

カナダに比べメキシコ血管外科学会は、ずっと蚊帳の外でやっと昨年米国血管外科学会メキシコ国際支部 Mexico Chapter of SVS ができました。米国血管外科学会中国大陸支部 China Chapter of SVS も昨年できましたが、ずっと以前より米国血管外科学会台湾支部 Taiwan Chapter of SVS があり並立しており、いかにも米国の中国に対する政治的立場を反映しているようです。もちろんドイツ語圏支部やイタリア支部はありますが、なぜか英国支部やフランス支部はありません。

米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS がある利点は、学会初日午後開催される International Chapter Forum にも応募できることです。もちろん口演の International Forum や35歳以下限定口演の International Fast Talk さらに今年からできた International Poster にも、SVS 会員同意なくても SVS 国際関連委員承認で応募できます。

Q3 米国血管外科学会国際関連委員会 SVS International Relation Committee は何をしているの？

A3 米国血管外科学会は、これも米国の国際政治的立場から、世界をリードする米国血管外科学会の立場と国内の血管外科医のための米国血管外科学会の立場

